

## 新型コロナウイルス感染症に係る 無症状患者及び軽症患者の宿泊療養施設について

神奈川県では、新型コロナウイルス感染症対策の医療提供体制を「神奈川モデル」として、症状の軽重により担当する医療機関を振り分け、無症状患者等については、自宅や宿泊療養施設で療養をすることとしています。

本市においては、神奈川モデルの一環として、陽性患者が高齢者や持病のある方と同居している場合など、自宅療養が困難な無症状患者等の療養環境の整備を図るため、旧北里大学東病院の敷地内にある元看護師寮を借用し、宿泊療養施設として開設しています。

なお、県内では、「神奈川モデル」として、湘南国際村センターと横浜市宿泊療養施設を確保しています。

### ○施設の概要

- (1) 名称 相模原宿泊療養施設(旧北里大学東病院 麻溝東コーポ)
- (2) 住所 南区麻溝台2 - 1 - 1
- (3) 構造等 鉄筋コンクリート造、耐火建築物、5階建て

### ○運営体制について

- ・入所者は、2～5階を利用し、40室まで利用ができます。
- ・24時間職員が常駐し、入所者への対応を行います。
- ・入所者は建物の中でのみ過ごし、外出することはありません。
- ・入所者の健康観察は保健師が実施し、症状が悪化した場合には、病院へ救急搬送します。